

令和 8 年度 事業概要



国土交通省 中部地方整備局
木曽川下流河川事務所

1. 木曾三川の概要

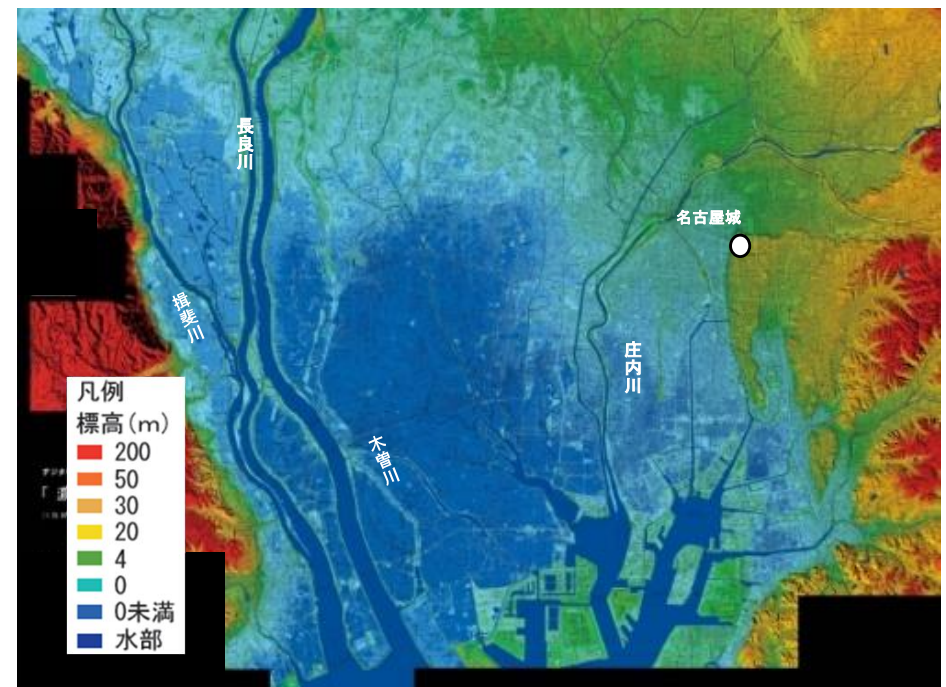
木曾三川は、木曾川・長良川・揖斐川の三川を幹川として、我が国最大の海拔ゼロメートル地帯を有する濃尾平野を南流し、伊勢湾に注ぐ流域面積が全国第5位の大河川です。

◆木曾三川下流域の特徴

- 海拔ゼロメートル地帯は、堤防と排水機場がないと暮らせない土地となります。



木曾三川下流域空中写真



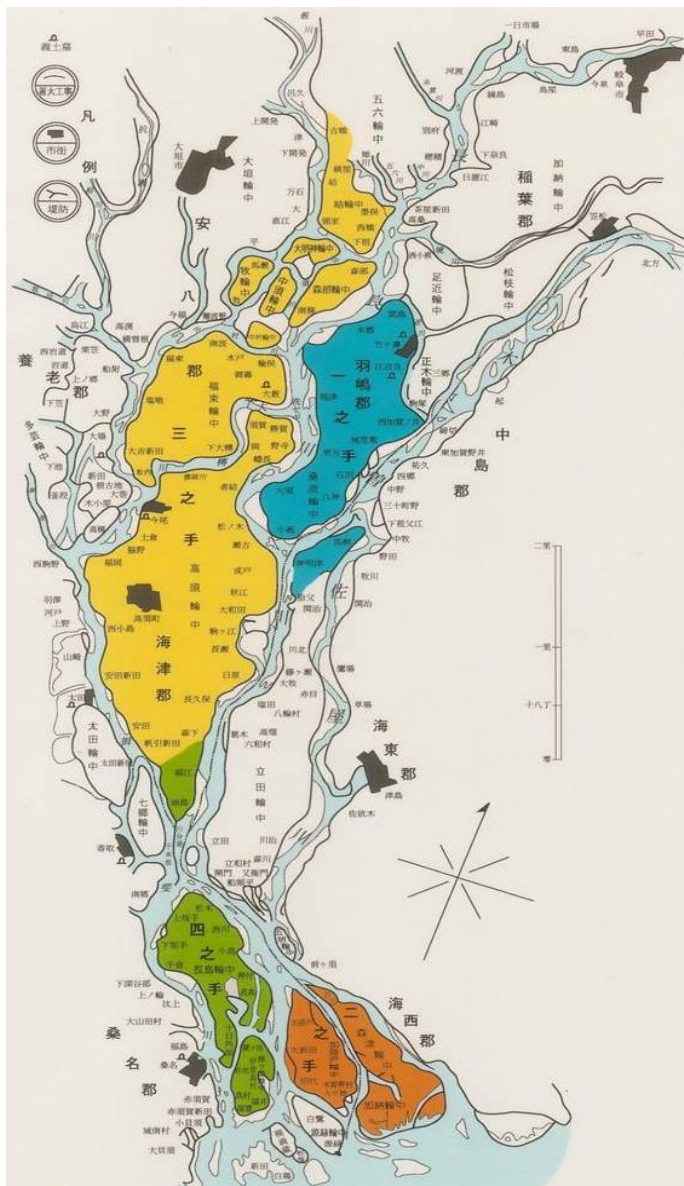
デジタル標高地形図

2. 木曾三川の歴史

木曾三川下流部は、木曾川、長良川、揖斐川をはじめとした多数の川が網目のようにつながっていたため、昔から多くの洪水に苦しめられてきました。

◆木曾三川の治水の歴史

- 【江戸時代初期】: 集落を取り囲むように、多くの輪中が形成されました。
- 【江戸時代中期】: 幕府の命を受けた、薩摩藩が、多大な犠牲を払い、三川の分流はじまりとなる治水工事を実施しました。(宝暦治水)
- 【明治時代】: オランダから招いたヨハネス・デ・レーケらにより三川を完全に分流する改修計画が立案され、現在の河道が形作られました。



宝暦治水: 河川改修図



千本松原

【千本松原】
薩摩義士が、宝暦治水で揖斐川と長良川を分ける背割堤を築造。その際に植えられた松。



船頭平閘門

【船頭平閘門】
明治改修において分流された木曾川と長良川の間を船が行き来できるよう作られた閘門。



ケレップ水制

【ケレップ水制】
明治改修において流路の固定などを目的に設置されたオランダ式水制。

2. 木曾三川の歴史

◆ 激甚な被害をもたらした伊勢湾台風

- 昭和34年9月26日伊勢湾台風による、高潮や洪水により、堤防が240箇所、約33kmに渡り決壊。
- 全国で死者・行方不明者5,098人、被災者数約120万人。ゼロメートル地帯のため、浸水は最長で約120日間にも及びました。



宅地浸水・倒壊

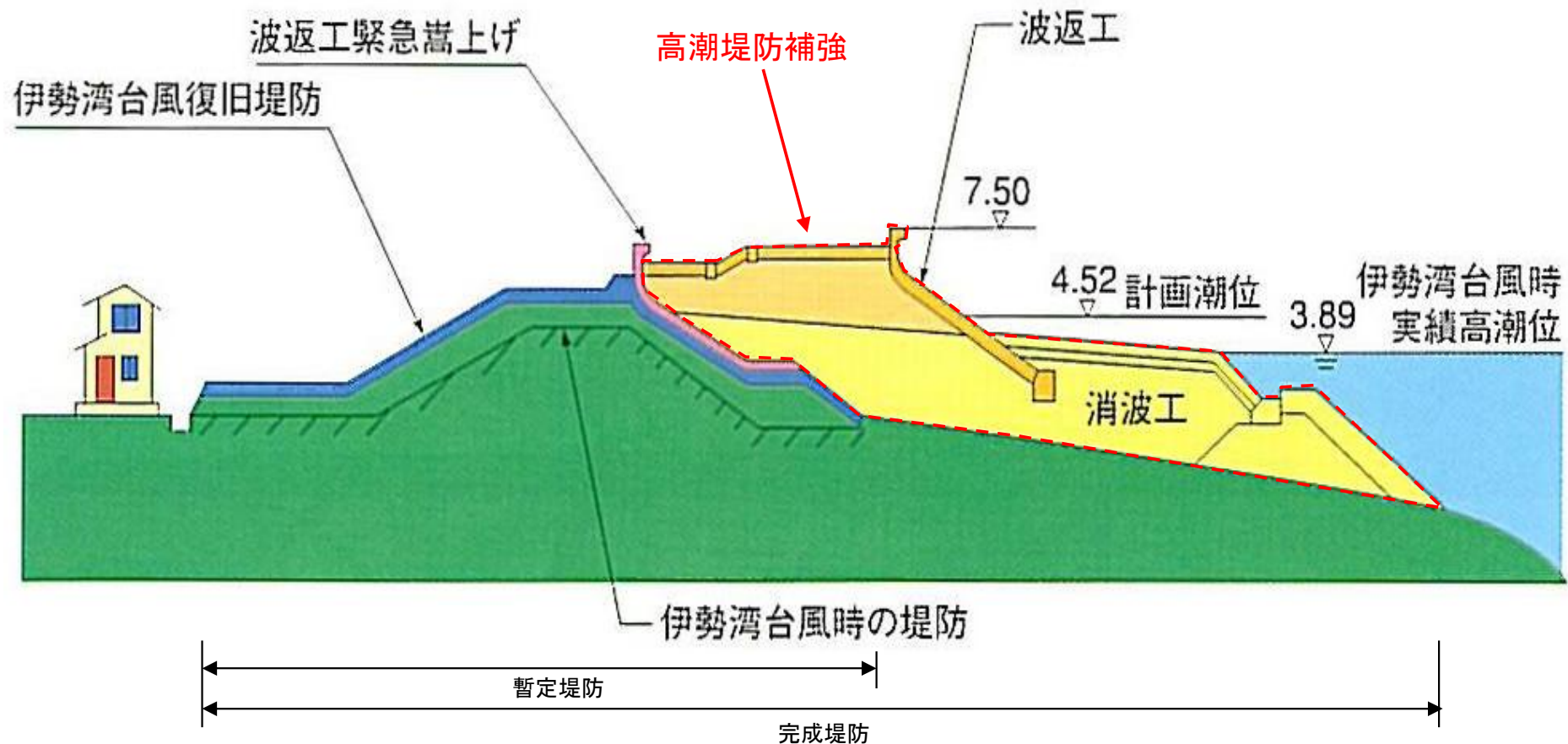


仮締切工事完了時

2. 木曽三川の歴史

◆高潮堤防整備の経緯

- 昭和34年9月の伊勢湾台風により壊滅的な被害を受けたことを契機に高潮堤防を復旧。その後、濃尾平野の広域的な地盤沈下により堤防高が沈下(1m~2m)したため、波返工の緊急嵩上げを実施(昭和50年~63年)。
 - さらに、川表側に消波工と波返工を設置して現在ある高潮堤防を完成させました。
- ※令和7年度末時点における高潮堤防の整備率は約97%。現在、堤防の耐震対策を並行して実施中



2. 木曾三川の歴史

【江戸期】1603～1868年

○氾濫域での新田開発が進み洪水被害が増加

・1608～1610: 木曾川左岸に尾張藩を守る御困堤が建設

・1747～1861: 木曾三川での御手伝普請※(全16回、48藩(延べ71藩))

※幕府の命を受けた藩が費用等を負担し自領外で土木工事を実施するもの

・1754～1755: 宝暦治水(薩摩藩、三川分流の先駆け、最も難工事)

<18世紀中旬～18世紀末: 西洋で産業革命>

【明治・大正期】1868～1926年

○近代河川改修 黎明期、西洋技術を導入

・1872～1903: 政府の招きでオランダ技師団来日(全10人、デ・レーケが1873～1903までと最も長く滞在)

・1873: 量水標による水位観測開始

・1887～1912: 明治改修(1900 木曾三川分流成功式、宝暦治水之碑建立式)

<1891: 濃尾地震>

<1894～95: 日清戦争>

<1896～97: 治水三法制定(96河川法、97砂防法・森林法)>

【昭和戦前】1926～1945年

○上流部で改修、水力発電。

<1937: 日中戦争勃発>

【戦後～昭和40年代】1945～1974年

○戦後復興、高度経済成長期、伊勢湾台風からの復興

・1956: 経済白書「もはや戦後ではない」

・1950年代半ば～70年代初頭: 高度経済成長期(地下水の汲み上げで広域地盤沈下が進行)

・1959: 伊勢湾台風により激甚な被害(全国で死者・行方不明者5千人以上)

・1959: 伊勢湾等高潮協議会設置(関係省で海岸・河川堤防の構造の基本方針を決定)

<1964: 新河川法制定、東京オリンピック>

<1973: 第一次オイルショック>

2. 木曾三川の歴史

【昭和50年代～平成初期】1975～1999年

○社会の変化に応じたインフラ整備(地盤沈下対策、治水対策、環境保全・再生、公園整備)

<1977:岩屋ダム完成(利水補給開始)>

- ・1975～:高潮堤防の緊急嵩上げ
- ・1971～1997:長良川のしゅんせつ、長良川河口堰建設

<1976:都市公園法改正(国営公園制度の創設)>

- ・1980～:国営木曾三川公園事業に着手
- ・1980年前後:排水機場完成(5/7箇所)

<1993:環境基本法成立>

- ・1990前半:干潟再生(人工干潟、渚プラン)

<1995:阪神・淡路大震災>

<1997:河川法改正(環境の内部目的化)>

【平成10年代～現在】2000年～

○気候変動顕在化、賑わい&治水対策、ソフト対策と合わせた大規模災害への備え

<2000:東海豪雨>

- ・2010:桑名市で、歴史・景観に配慮した堤防整備完成

<2008:人口ピーク>

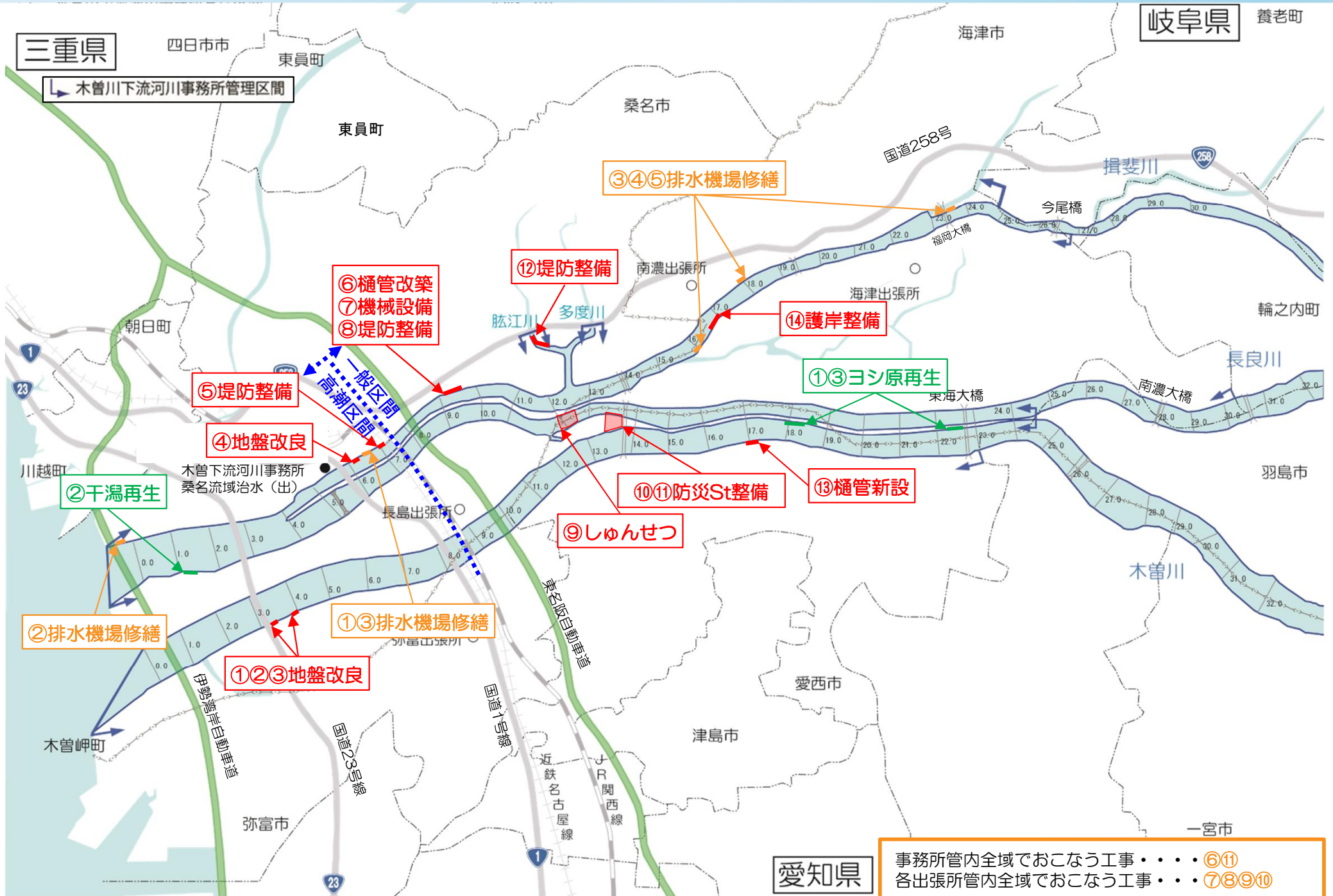
<2010:東日本大震災>

- ・2013～:高潮堤防の液状化対策本格化
- ・2010年代:河川防災ステーション整備促進(3箇所完成、復旧資材の備蓄)
- ・2016～:広域避難実現プロジェクト 設立

<2018・19:18西日本豪雨、19東日本台風>

- ・2020:流域治水プロジェクト(2021.3全国109水系で一斉公表)

令和8年度 河川改修・環境整備・維持修繕 工事予定箇所



愛知県

事務所管内全域でおこなう工事・・・⑥⑪
各出張所管内全域でおこなう工事・・・⑦⑧⑨⑩

※工事予定箇所は今後変更となる場合があります。

改修工事

番号	工事名	地先	工事内容	予算区分	工期
①	令和7年度 木曾川加路戸地区下流高潮堤防補強工事	桑名郡木曾岬町雁ヶ地地先	地盤改良工事	過年度予算	R8.3.28～R9.2.26
②	令和7年度 木曾川加路戸地区上流高潮堤防補強工事	桑名郡木曾岬町雁ヶ地地先	地盤改良工事	過年度予算	R8.3.28～R9.2.26
③	令和8年度 木曾川加路戸地区上流高潮堤防補強工事	桑名郡木曾岬町雁ヶ地地先	地盤改良工事	R8当初予算	-
④	令和8年度 揖斐川吉之丸地区高潮堤防補強工事	桑名市上之輪新田地先	地盤改良工事	R8当初予算	-
⑤	令和7年度 揖斐川高潮堤防整備工事	桑名市上之輪新田地先	堤防整備工事	過年度予算	R7.11.1～R8.6.30
⑥	令和3年度 揖斐川御砂樋管改築工事	桑名市下深谷部地先	樋管改築工事	過年度予算・R8当初予算	R3.11.8～R8.9.11
⑦	令和8年度 揖斐川御砂樋管機械設備工事	桑名市下深谷部地先	機械設備工事	R8当初予算	-
⑧	令和8年度 揖斐川深谷築堤護岸工事	桑名市下深谷部地先	堤防整備工事	R8当初予算	-
⑨	令和7年度 長良川福原しゅんせつ工事	愛西市立田町福原地先	しゅんせつ工事	過年度予算	R8.3.28～R8.12.25
⑩	令和7年度 長良川福原河道整備工事	愛西市立田町福原地先	防災ST整備工事	過年度予算	R8.3.28～R9.3.26
⑪	令和8年度 木曾川福原地区河川防災ステーション整備工事	愛西市立田町福原地先	防災ST整備工事	R8当初予算	-
⑫	令和7年度 肱江川築堤護岸工事	桑名市多度町香取地先	堤防整備工事	過年度予算	R8.3.14～R8.12.28
⑬	令和5年度 葛木樋管新設工事	愛西市葛木町高田地先	樋管新設工事	受託(愛知県)	R6.2.1～R8.5.29
⑭	令和8年度 揖斐川帆引新田地区護岸整備工事	海津市海津町帆引新田地先	護岸整備工事	R8当初予算	-

環境工事

番号	工事名	地先	工事内容	予算区分	工期
①	令和7年度 木曾川下流管内環境整備工事	愛西市塩田地先	ヨシ原再生工事	過年度予算	R8.1.23～R8.6.30
②	令和7年度 木曾川下流管内環境整備工事	桑名市長島町福豊地先	干潟再生工事	過年度予算	R8.1.23～R8.6.30
③	令和8年度 木曾川下流管内環境整備工事	海津市海津町秋江地先	ヨシ原再生工事	R8当初予算	-

維持修繕工事

番号	工事名	地先	工事内容	予算区分	工期
①	令和7年度 揖斐川沢北排水機場主ポンプ設備修繕工事	桑名市東汰上地先	排水機場修繕工事	過年度予算	R7.11.18～R9.2.26
②	令和7年度 揖斐川城南排水機場ポンプ設備修繕工事	桑名市太平町地先	排水機場修繕工事	過年度予算	R8.3.～R10.7.31
③	令和7年度 木曾川下流管内排水機場ポンプ設備修繕工事	桑名市東汰上地先・海津市南濃町吉田地先	排水機場修繕工事	過年度予算	R8.3.～R9.2.26
④	令和7年度 揖斐川高須輪中排水機場監視操作制御設備修繕工事	海津市海津町万寿新田地先	排水機場修繕工事	過年度予算	R8.3.7～R10.2.29
⑤	令和8年度 揖斐川津屋川排水機場ポンプ設備修繕工事	海津市海津町福岡地先	排水機場修繕工事	過年度予算	-
⑥	令和8年度 木曾川下流管内河川管理施設修繕工事	木曾川下流河川事務所管内	水門修繕工事	過年度予算	-
⑦	令和7年度 海津管内堤防維持管理工事	【海津出張所管内】	出張所管内維持工事	R8当初予算	R8.4.1～R9.3.31
⑧	令和7年度 桑名管内堤防維持管理工事	【桑名流域治水出張所管内】	出張所管内維持工事	R8当初予算	R8.4.1～R9.3.31
⑨	令和7年度 長島管内堤防維持管理工事	【長島出張所管内】	出張所管内維持工事	R8当初予算	R8.4.1～R9.3.31
⑩	令和7年度 弥富管内堤防維持管理工事	【弥富出張所管内】	出張所管内維持工事	R8当初予算	R8.4.1～R9.3.31
⑪	令和8年度 木曾下流管内河川整備工事	【木曾川下流河川事務所管内】	事務所管内維持工事	過年度予算	-

3. 河川改修事業（高潮区間）耐震対策

令和3年度から継続的に実施してきた高潮堤防の嵩上げは、令和7年度に完了しました。地震時の被害最小化に向け、引き続き地盤改良を実施していきます。

◆〔木曾三川河口部耐震対策事業〕①・②・③・④

- S34年の伊勢湾台風を契機に、高潮堤防の整備を進め、橋梁部など一部の区間を除き概成。
- しかし、木曾三川下流部は地下水位が高く、液状化しやすい砂礫層が厚く堆積しているため、南海トラフなどの巨大地震により堤防が大きく沈下するおそれがあります。
- そのため、地震による高潮堤防の沈下の抑制し、浸水被害の軽減を図ることを目的として、高潮堤防の「天端盛土」、「地盤改良」の整備を進めています。



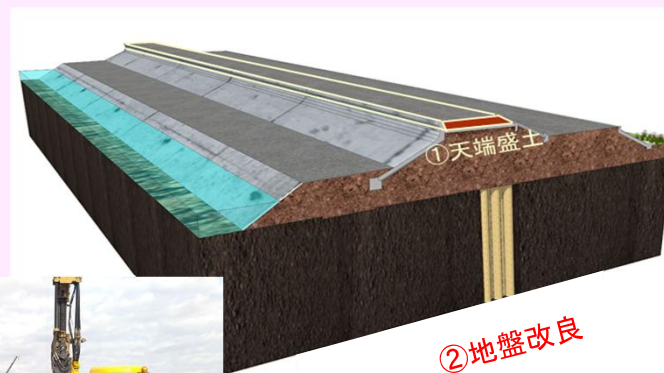
嵩上完了箇所
(木曾岬町加路戸地先)

耐震対策工事概要

平均年最大規模相当の高潮※による浸水被害の恐れのある区間に対して、以下の対策を実施。

- ①天端盛土(R2補正予算～R6補正予算にて実施)
地盤の液状化によって沈下する堤防の高さを嵩上げにより確保する。
- ②地盤改良(R7補正予算より実施)
地盤の液状化を最小限に抑え、堤防の高さを確保する。

※木曾川水系河川整備計画の目標としている高潮であり、数年に一度発生すると考えられる高潮

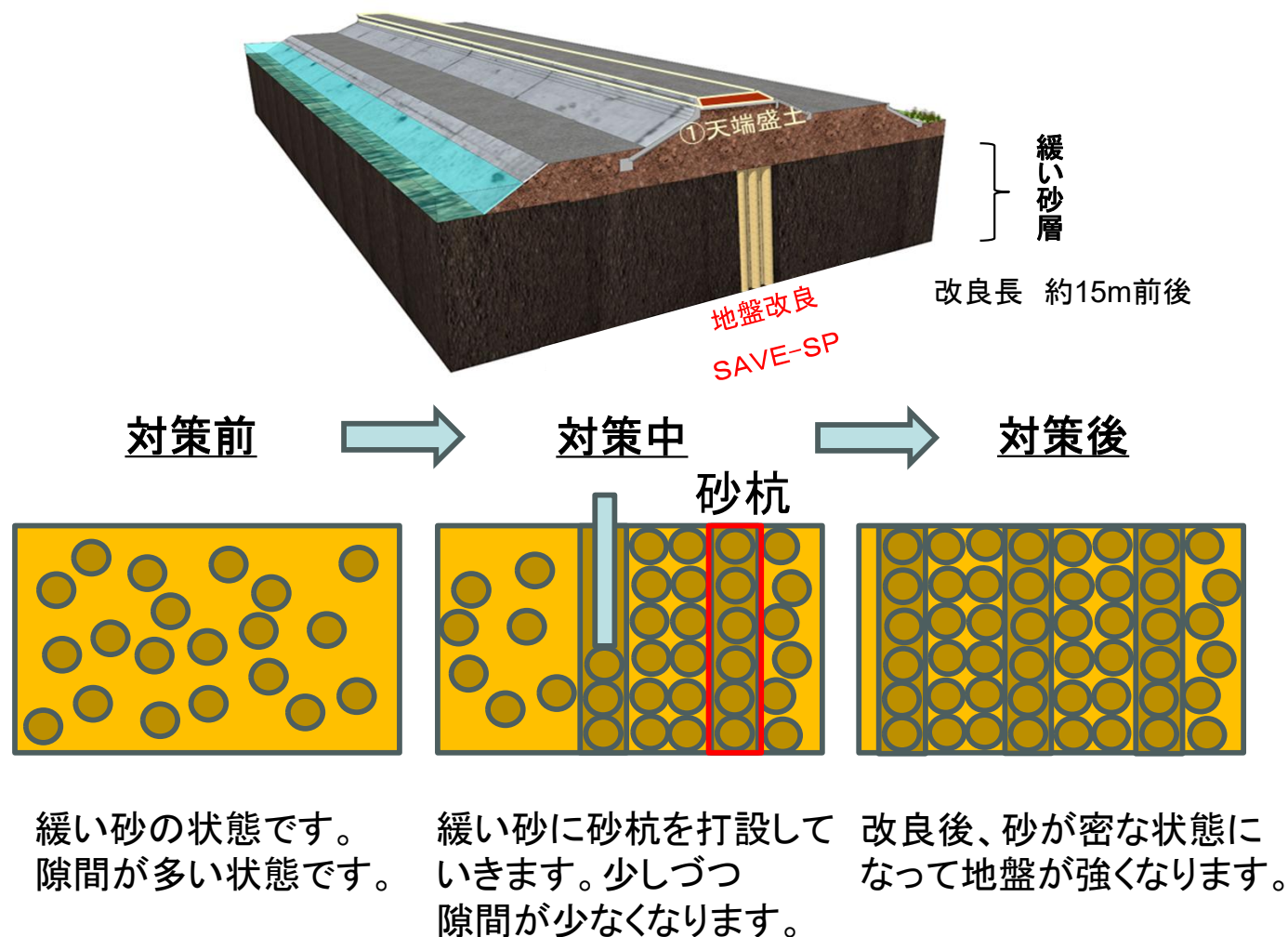


地盤改良工事

3. 河川改修事業（高潮区間）耐震対策

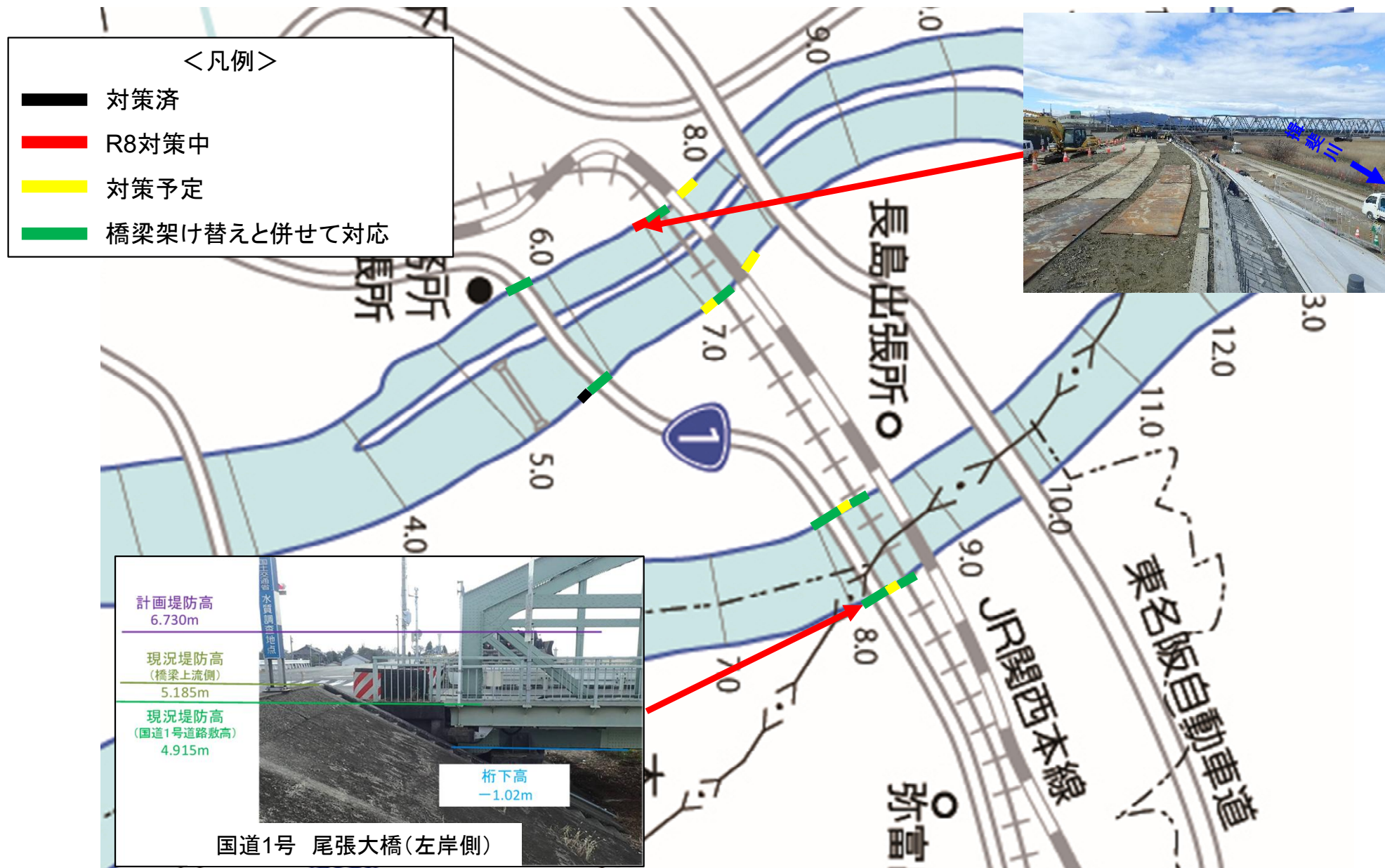
地盤改良とは

堤防直下の液状化対策として、「砂圧入式静的締固め工法（SAVE-SP工法）」を用いて地盤改良を実施します。この工法は、材料となる砂に流動化剤（砂を入れやすくするもの）を加えて、緩い砂層にポンプで圧送します。緩い砂層が締固められることにより液状化を抑制し、地震による堤防の大きな沈下を防ぎます。



3. 河川改修事業（高潮区間） 開口部対策

木曾川下流管内の高潮堤防については、令和7年度末現在、全体延長の約97%が完成しています。
現在架替工事を行っている伊勢大橋を始めとした道路橋梁付近や、鉄道橋付近の開口部の整備について、橋梁管理と調整を進め、整備を進めています。



3. 河川改修事業（一般区間）

◆〔揖斐川深谷地区堤防整備事業〕⑥⑦⑧

- 高さ及び断面が不足している堤防整備と併せて樋管の改築を実施しています。



揖斐川深谷地区堤防整備事業(箇所:桑名市)
令和8年2月撮影

◆〔木曾川福原地区河川防災ステーション整備事業〕⑩⑪

- 堤防が被災した際の復旧・復興にかかる期間を短くするために防災ステーションの整備を実施しています。



木曾川福原地区河川防災ステーション整備事業(箇所:愛西市)
令和7年12月撮影

◆〔揖斐川帆引新田地区堤防整備事業〕⑭

- 洪水による侵食を防ぐため護岸整備を実施しています。



揖斐川帆引新田地区堤防整備事業(箇所:海津市)
令和8年3月撮影

◆〔長良川背割堤(上)・福原地区しゅんせつ事業〕⑨

- 洪水を安全に流下させるため、河道掘削を実施しています。



長良川背割堤(上)・福原地区しゅんせつ事業

3. 河川改修事業（地域開発との連携）

長良川では、これまで長良川河口堰の建設や大規模な河道掘削を実施し、治水安全度が大幅に向上しました。
この河道掘削で発生した土砂は、沿川の土地利用にも有効活用され、地域活性化に貢献しています。

・桑名市長島町駒江地先

【事業期間】 平成2年～平成10年

【事業主体】 国(水資源機構)、長島観光開発(株)

【役割分担】 国:土地造成(排土地として活用)

長島観光開発(株):跡地を「なばなの里」として開発



1991/11/9撮影



なばなの里「華回廊」



2000/10/05撮影

航空写真（国土地理院:地図・空中写真閲覧サービスより）

・海津市平田町野寺地先

【事業期間】 平成10年～平成11年

【事業主体】 国、平田町

【役割分担】 国:土地造成(「野寺水防拠点」として整備)

平田町:施設建設(道の駅「クレール平田」)



4. 環境整備事業

木曾三川下流部の豊かで多様な水際環境を再生するため、地域との協働により、ヨシ原及び干潟再生事業やニホンウナギをシンボルとした生態系ネットワーク構築を進めていきます。

◆〔木曾川下流域自然再生事業〕

①・②・③

- 動植物の良好な生息場とするため、ヨシ原及び干潟再生事業を実施しています。



養浜による干潟再生整備状況



ケレップ水制でのヨシ原再生整備状況

◆ニホンウナギ生態系ネットワークの推進

- 豊かな生態系の構築のために、海から川の上流まで移動するニホンウナギをシンボルとして生態系ネットワークの実現に向け関係機関との連携に取り組んでいます。



地域の小学生とのウナギ生息調査

5. 河川管理

堤防除草や河川巡視、河川管理施設の点検等により河川の状況把握を行うとともに、河川管理施設の機能維持のための補修や更新を実施するとともに、河川管理に支障となる不法行為等への対策を実施しています。

◆河川管理施設の巡視・点検



河川巡視・堤防点検



◆適正な水面利用の推進



水面利用合同パトロールの実施

◆河川管理施設の維持管理



矢板護岸の補修



主ポンプ駆動設備分解整備

◆不法係留船対策



所有者不明船の簡易代執行(多度川)

令和8年度 公園事業工事予定箇所



6. 国営木曽三川公園事業

国営木曽三川公園は、木曽川・長良川・揖斐川の木曽三川が有する広大なオープンスペースと豊かな自然環境を活用し、レクリエーション需要の増大と多様化に応えるために設置された公園です。

※競技期間:2026/9/20~9/25

◆木曽三川公園センターの大規模修繕①

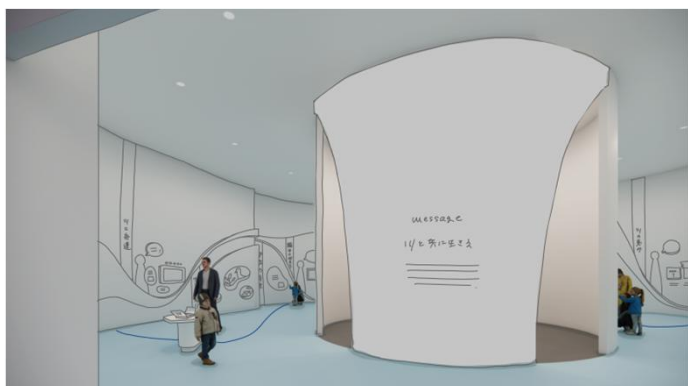
- 老朽化が著しい「水と緑の館」の建て替えを進めていきます。



木曽三川公園センター(整備後イメージパース)
※実際にはイメージと異なる場合があります。

◆木曽三川公園センターの展示施設更新③

- 「水と緑の館」建て替えに併せて、展示施設更新を進めていきます。



展示施設イメージ(※実際には異なる場合があります。)

◆長良川サービスセンターの施設更新②

- 2026年アジア競技大会ローイング競技※の開催に向け、施設の更新を進めていきます。



愛知・名古屋アジア・アジパラ競技大会実行委員会主催

テクニカルリハーサル(令和7年11月15日開催)

◆公園の維持管理

- 園内巡視等により不具合箇所を把握し、利用者の安全に配慮した維持管理に努めていきます。



園内現地確認状況

7. 防災・危機管理

◆ 広域避難実現プロジェクト

- 地域や住民による命を守るための主体的な避難行動とそれを後押しする行政サポートにより、被害最小化を目指します。



自主的広域避難情報の
発表訓練



令和7年度 シンポジウムの開催状況

◆ 防災啓発・地域文化の発信

- 小・中学校における防災教育の推進などを実施しています。
- 木曾三川の歴史や社会資本ストックの重要性を伝えるためのPR誌「KISSO」を発行や、開放講座を開講します。



防災講座の様子



◆ 防災訓練

- 自然災害に備え、地域の自治体、関係機関と各種訓練を実施しています。



海部地方総合防災訓練



災害対策車両の操作訓練

◆ 災害時の支援(TEC-FORCE:緊急災害対策派遣隊)

- 被災地にTEC-FORCEを派遣し、被災状況調査を実施するなど地方公共団体等の支援を行います。

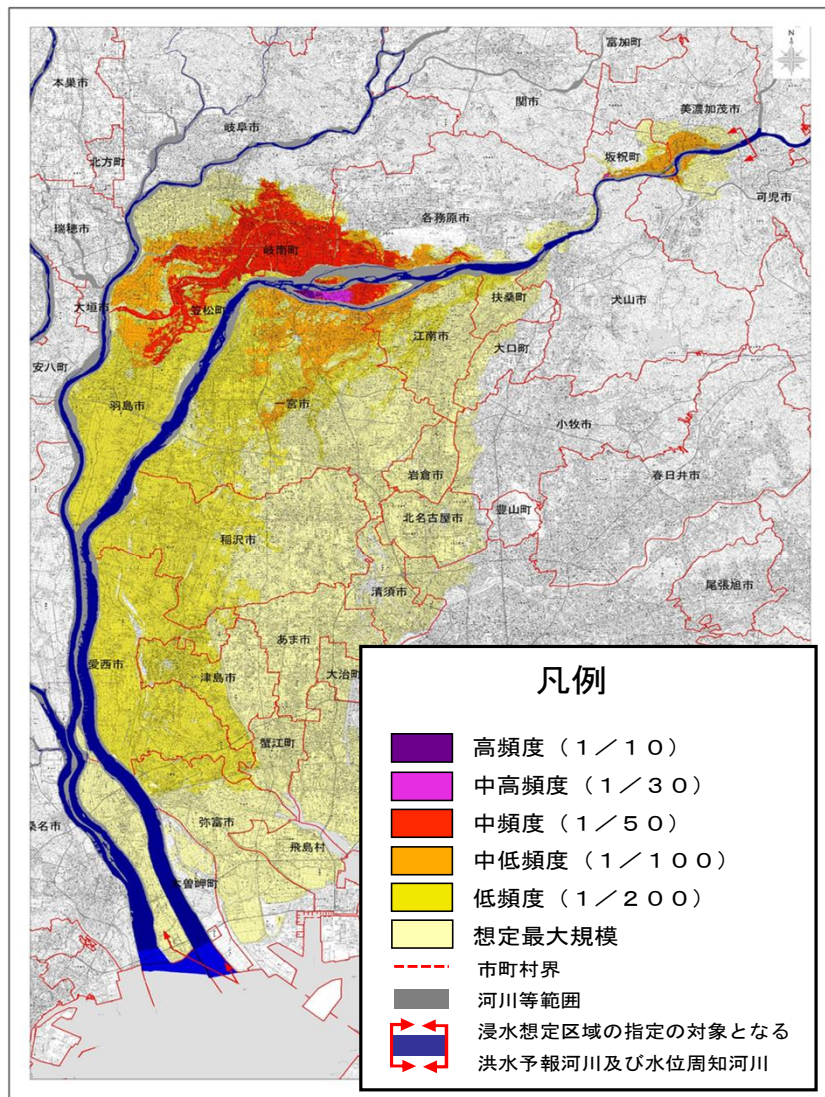


令和6年9月能登半島豪雨 活動状況(石川県輪島市にて)

8. 地域との連携

◆流域治水プロジェクト

- 水害の激甚化・頻発化に備え、あらゆる関係者が協働して流域全体で水害を軽減させる治水対策「by ALLの流域治水」を進めます。



防災まちづくりの推進のため水害リスクマップを公表

◆住民との連携・協働による河川管理

- 河川の美化・清掃活動を木曾三川下流アダプト団体や河川協力団体の皆様と協働して実施しています。



河川協力団体との清掃活動

◆河川空間のオープン化

- 水辺空間の利活用を通じた地域活性化のため「まちと水辺が融合した良好な空間形成(かわまちづくり)」を市町や地域住民等と連携し進めていきます。



桑名市(七里の渡し公園)

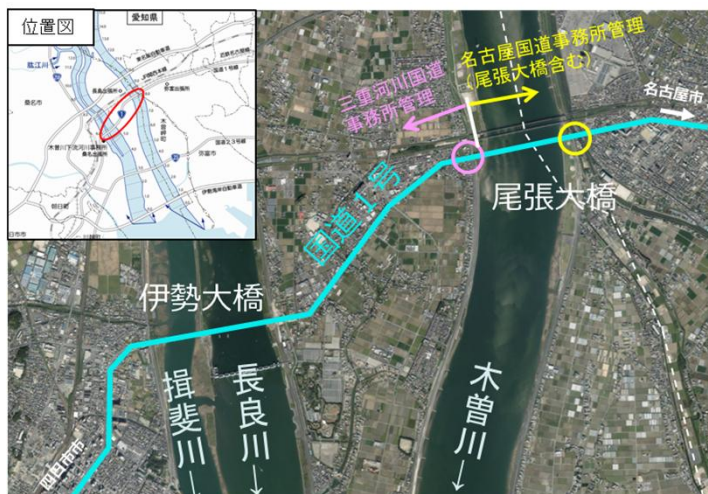


海津市(長良川サービスセンター)

水辺を利用した地域イベント

9. 木曽三川下流部の高潮対策

- 木曽川を渡る国道1号の尾張大橋や、長良川・揖斐川を渡る伊勢大橋付近の堤防は、橋梁が低いため、所定の高さより低くなっている箇所があります。
そのため、大型台風が襲来し高潮が発生した際には、その低い箇所から波が堤防を越えてくる恐れがあります。
- 河川管理者・道路管理者・水防管理者では、そのような場合が想定される際には国道1号を通行止めにし、越波を防ぐための大型土のうを設置することとしています。
- その訓練が国道1号を通行止めにしなくても出来るよう、コンピューター上の仮想空間に現地の地形を再現し、コントローラーで重機を動かし大型土のうを設置する訓練ができるシステムを整備しました。

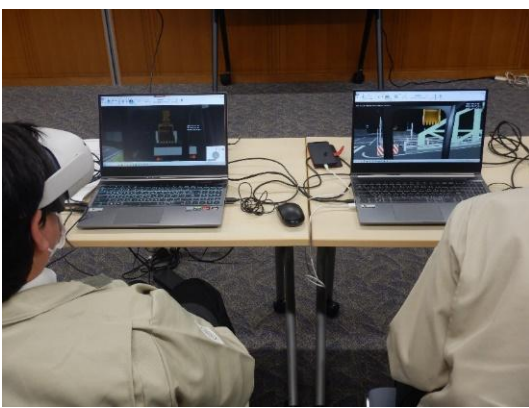


国道1号 尾張大橋、伊勢大橋 位置図

対策現場を想定した大型土のう設置訓練



VRによる訓練実施状況



訓練の実施状況

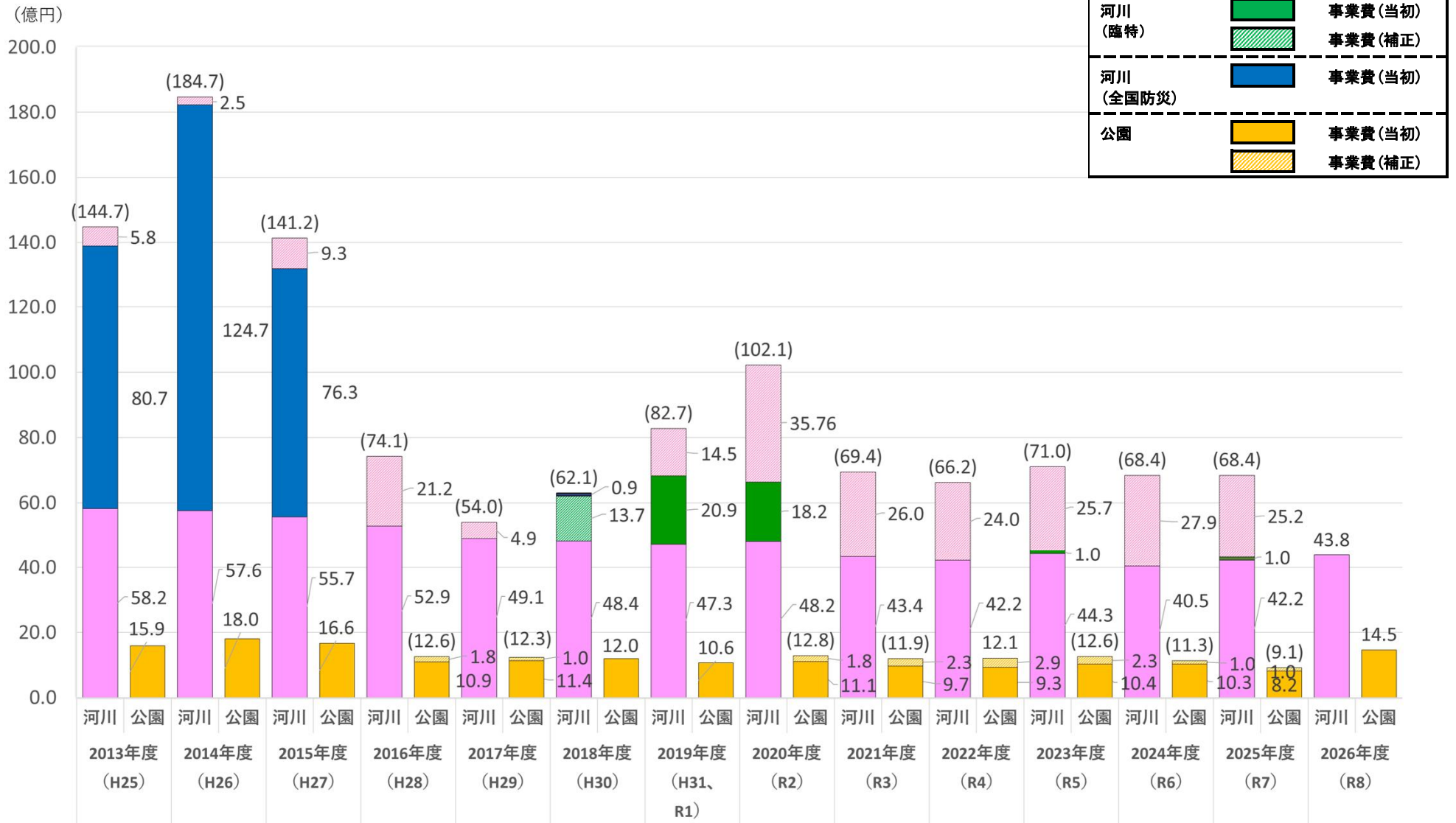


国道1号 尾張大橋 状況写真 (弥富市側)

10. 事業費

◆ 事業費の推移

(2013年度(平成25年度)～2026年度(令和8年度)(当初))



※ 各年度の事業費は、補正予算等を含めた合計の事業費

※ 事業費は、業務取扱費を除く

※ 令和7年度補正予算・令和8年度当初予算合計、河川:69.0億円・公園:15.5億円

1.1. 管理施設

◆ 堤防管理区間延長

	木曾川	長良川	揖斐川	合計
堤防	49.7	47.0	58.8	155.5

(km)

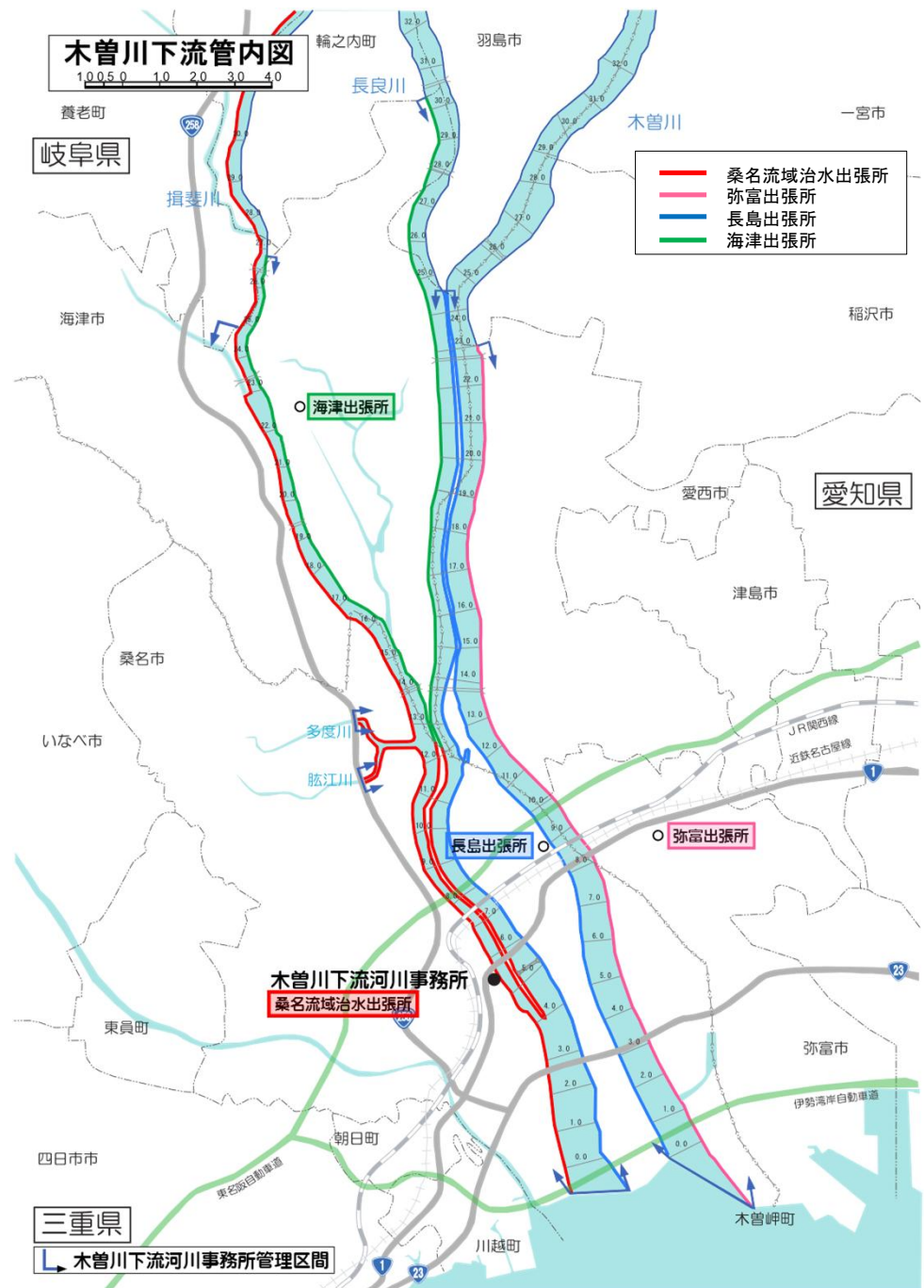
※背割堤区間は各河川に計上
 ※多度川・肱江川は揖斐川に計上

◆ 管理施設数

	木曾川	長良川	揖斐川	合計
水門	1	0	5	6
樋門・樋管	0	1	19	20
排水機場	0	1	6	7
閘門	1	0	0	1
陸閘	0	0	1	1

(施設)

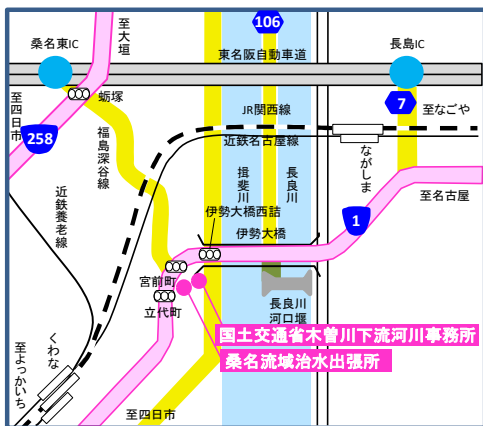
※船頭平閘門は木曾川に計上



木曾川下流河川事務所管理区間

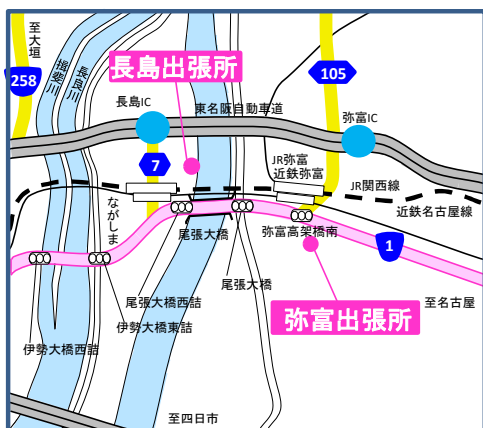
木曾川下流河川事務所について

位置図



木曾川下流河川事務所
〒511-0002
三重県桑名市
大字福島465
TEL: 0594-24-5711(代表)

桑名流域治水出張所
〒511-0002
三重県桑名市
大字福島465
TEL: 0594-23-6013



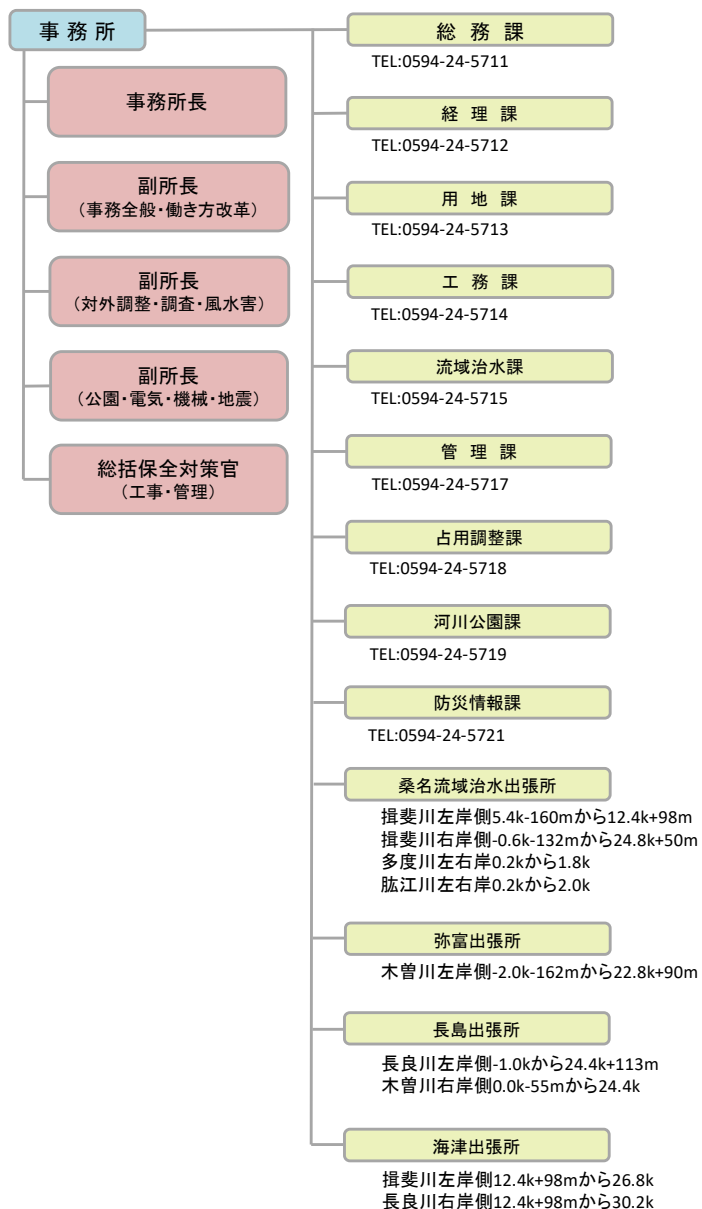
長島出張所
〒511-1112
三重県桑名市
長島町大倉17-52
TEL: 0594-42-0257

弥富出張所
〒498-0021
愛知県弥富市
鵜浦町東前新田122-2
TEL: 0567-67-0229



海津出張所
〒503-0647
岐阜県海津市
海津町東小島23
TEL: 0584-53-0483

令和8年度の組織図



国土交通省 中部地方整備局
木曾川下流河川事務所



国土交通省
川の防災情報

